

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	エンデラン大学 海外語学研修 6週間
------------	--------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	80000 円	
図書費	0 円	
学用品費	円	
携帯・インターネット費	2000 円	SIM とロードカード
現地通学費	0 円	(研修先まで徒歩3分)
教養娯楽費	円	
被服費	1000 円	現地でTシャツを購入
雑費	20000 円	
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	130000 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特にありませんでした。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本から円を持っていき、寮の近くのショッピングモール内にある換金所でペソに換金しました。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
近くのショッピングモールにローソンがあり、店員さんに SIM とロードカードが欲しいと伝えると用意してくれるので確認をして支払いをしました。セブンイレブンでも購入しましたが、店内には置いていないので店員さんに聞かなければ買えませんでした。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
用意していて助かったものは、小さめの物干し、長袖、ビーチサンダル、日本食、ウェットティッシュなどでした。準備したほうがよかったものは泡の食器用洗剤です。普通の食器用洗剤とスポンジを現地で購入して使っていましたが、少し手間だったので持っていけば良かったと思いました。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等: 友達、現地の先生) 特記事項: 留学中貧血がひどくなってしまった日があり、朝授業前に友達と先生が気づいてくれたので、その際に体調のことを相談しました。
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
外務省海外安全ホームページのメールから収集していました。その内容がよくわからなかったときは現地の先生に聞いていました。盗難などの対策としては、巨額を持ち歩かない、スマホ・お財布は斜めがけのバッグに入れて肌から離さない、クレカの番号やカード会社、携帯会社の電話番号を控えておくなどをしていました。犯罪に巻き込まれることはありませんでした。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)かなり繋がりにくかったです。学校では生徒用の Wi-Fi に接続するのですが、繋がりにくいことが多かったです。寮では1部屋に1つポケット Wi-Fi がもらえますが、良くて2日早くて1晩で使えなくなります。その度に寮のマネージャーに直してもらおうのですが、その返却に1~2日かかりました。Wi-Fi を使わなくてもそもそもの回線が弱いです。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	
<input checked="" type="checkbox"/> 寮・アパート	<input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室	<input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 3, 4人)
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス	<input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
<p>まず一番初めに気をつけることは、トイレトーパーを流さないことです。私たちの部屋ではペーパーを流してトイレが詰まりました。また、シャワーの一度に出る水の量がかなり少ないです。シャワーの温度に関しては、低ければ寮のマネージャーに相談すれば上げてもらえます。気になる方はシャワー用のサンダルを用意しておくとも良いです。ルームメイトにもよりますが、室内はエアコンが効いているので長袖の部屋着があると良いと思います。分からない事があれば、寮のマネージャーやハウスキーパー、先にいる留学生などに聞くと教えてくれます。</p>	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容	
<p>マンツーマンレッスンでのチャッターボックスという質問をもとに先生と会話する授業です。そもそも教科書に様々なトピックがあり、それだけでも色々な話ができるのですが、私は先生とお互い自身のことはもちろん、お互いの国の文化、社会問題など本当に様々なことを話すことができました。英語で説明することが難しいときもありましたが、あきらめずに伝えるようにしていました。</p>	
2) 課外プログラムについて	
<p>週末アクティビティとして2週目にマニラ観光、5週目にビーチに行きました。どちらも同じバスガイドさんが案内してくれました。マニラ観光では博物館、公園、遺跡、教会に行き、馬車に乗ったり、伝統舞踊を見ながら夜ご飯を食べたり、たくさんの経験をすることができました。ビーチは本当にきれいで、お昼ごはんにはフィリピン料理を楽しみました。</p>	
3) 滞在先・現地での生活に関すること	
<p>食事に関して、野菜を摂ることが難しいです。そのため、お昼ごはんはメニューに野菜が含まれている食堂を利用したり、近くのスーパーにあるサラダバーを利用したりしていました。また、スーパーに毎日フルーツの詰め合わせ、カットフルーツなどが売っていて、簡単に食べられて栄養が摂れそうなのでよく買っていました。一度貧血を起こしたのですが、日本にいる時はならなかったのでおそらく栄養不足が原因でした。貧血気味など健康状態が心配な方は気をつけてください。</p>	

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

英語のスピーキング力をあげたいと考えていたのですが、長期留学に行くのは金銭的に難しいため、短期間でそれが叶えられるプログラムを探していたところ、このエンデラン大学のプログラムを見つけました。このプログラムの最大の特徴であるマンツーマンレッスンに惹かれて応募を決めました。実際に6週間のプログラムを終えて、英語力は飛躍的に伸びた訳ではないのですが、英語を話すことに対する躊躇いがなくなりました。マンツーマンレッスンは1日4時間あり、アクセントトレーニングと教科書に書かれた質問をもとに先生と話すチャッターボックスの2つの内容を扱っていました。アクセントトレーニングで特に印象に残っているのは、R と L の発音を鍛えてもらったことです。教科書とは別に先生がオリジナルの教材と指導内容を作ってくれました。その中で自分の発音が正しいかどうか確認するために音声検索を使ったのですが、初めは聞き取ってもらえなかった単語を聞き取ってもらい正しく検索できた時は先生も一緒に喜んでくれました。また、チャッターボックスではただ質問に答えるだけでなく、先生とお互い自身のことや国の文化、社会問題など本当にたくさんのことを話すことができました。エンデラン大学の先生は熱心で親切な方が多いです。私も友達も本当に良くしてもらいました。フィリピンでの生活全体を通して、日本の当たり前が通用しないこともありましたが、とても有意義な時間を過ごすことができました。この研修に参加するかどうか迷われているなら、参加することをおすすめします！

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	エンデラン大学(派遣)春季2022 6週間プログラム
------------	----------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	60000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	4000 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 5分)
教養娯楽費	2000 円	
被服費	0 円	
雑費	2000 円	
その他	2000 円	例: タクシー代
その他	円	例:
合計	70000 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか

自分は一か月以上滞在のためにビザを発行する必要があったが、経費削減のために発行をしなかった。であるので日本の空港で出国を止められるというトラブルがあった。

2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法: 出国前に換金した。

その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート

3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか

寮の Wi-Fi はすぐに使えなくなるので、SIMカードをコンビニで買って使っていた。

4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

日本食、カップラーメンやインスタントの味噌汁

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)

なし あり (問題の内容や相談した人等:)

特記事項:

2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

カバンを前にして歩いた。

3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)

寮の Wi-Fi はとても弱いので、ほとんどの時間は大学で過ごしていた。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類
<input checked="" type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 4人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
部屋が四人用にしてはかなり狭かったため一人の時間を得るのはなかなか難しかった。私はルームメイト達がとてもやさしい人たちであったため、あまり苦ではなかった。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容
私は6週間のプログラムを選択したためかなり英語に触れる時間が長かった。そのため英語力の向上を強く実感することができた。
2) 課外プログラムについて
マニラ周辺の様々な地域に訪れることができ、文化の違いを強く感じる事ができた。
3) 滞在先・現地での生活に関すること
寮、大学の水回り事情が日本とかなり異なったためストレスを感じた。フィリピンではトイレトペーパーをトイレに流すことができないことや、シャワーが自分の思うように出ないことがあり日本がどれほど恵まれた環境にあるのかを実感した。また、僕は日本ではおなかを崩すことはあまりないが、フィリピンではほぼ毎日お腹を壊していたことが辛かった。このこともあって日本に帰りたいと思うことが何度もあった。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

寮での生活はかなりきつい。しかし、日本人以外の友達もできるし、他大学の友達も多くできる。自分よりも頑張っている人が多くいる環境に身を置くことができとても良い経験をする事ができた。6週間という長い期間も4人で共同生活するという初めての経験を含めて、今まで自分が体験したことのない多くのことをこのフィリピン留学では経験できる。だからこそ、少しでも留学してみたいと思うのなら迷わずこのフィリピン留学プログラムを選んでほしい。きっと人生最高の経験ができると思う。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	エンデラン大学 6 週間プログラム
------------	-------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	70000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	1300 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで徒歩 5 分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	11109 円	
雑費	円	
その他	30000 円	例:お土産代
その他	円	例:
合計	112409 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか

ビザの申請について詳しく説明して欲しかったです。出国日にビザが発給されていないことを ANA に問題視されたタイミングで初めてビザ関連の情報を得ました。もう少し、オリエンテーションで説明してもよかったのかなと思います。

2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法:

その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート

3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか

SIM カードとロードカードはコンビニエンスストアで購入しました。モール内でも購入できます。

4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

解熱剤と整腸剤は持って行ってよかったです。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:研修の相談窓口、現地の友人等)

なし あり (問題の内容や相談した人等:)

特記事項:

2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

しおりに載っている情報を参考にしていました。防犯対策については、人ごみの中では、リュックを前にしたり、財布を二つに分けていたりしていました。

3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)

寮から支給されたポケット Wi-Fi は弱すぎて繋がらない時は本当につながらなかったです。そのため、wi-fi を使用したいときは、大学に行っていました。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類
<input checked="" type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 4人)
3) 共有部分
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
寮の環境はよいとは言えないです。しかし、共有スペースに行けば、他大学の学生や他国籍の学生とも仲良くなることが出来ます。実際、僕は、多くの友達を作ることができました。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容
発話やリスニングなど今までの学習とは異なる方法で英語学習を進めることができたこと。
2) 課外プログラムについて
よかったです。2 回目の課外プログラムについては、片道 4 時間弱という長時間の移動時間となり、大変だったのですが、その長時間の移動中もフィリピンの街並みを見て楽しむことができました。有意義な時間を多く過ごせたと思います。
3) 滞在先・現地での生活に関すること
水回りは良くないです。Wi-Fi も強くないです。ですが、いろいろな人と友達になることができます。他大学、他国籍の友人もつくれ、とても有意義な時間を過ごすことができます。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

本当によい経験をする事ができました。このフィリピン留学プログラムでは、1日 7 時間の英語の授業をはじめ、私生活面においても日本で暮らしていたら体験できない 6 週間を過ごすことができます。英語学習だけでなく、街に出たときに自分の目で見た発展途上国、フィリピンの姿は、一部の都会地域は自分の予想を超えて遥かにすごかったです。一方で、ストリートチルドレンがお金を頂戴と言ってきたり、乞食がいたり、雰囲気独特であったりと、社会科の教科書で見たような光景を実際に自分の目で見る事ができました。自分の目で様々な光景を見ることは大切なだと僕はこの経験を通して強く思うようになりました。また、寮生活であるため、自分から行動を起こせば、他大学、他国籍の友人も作る事ができ、より充実した時間を作ることができると思います。日本とフィリピンの違いに苦むことはあると思いますが、このプログラムを選べば、素晴らしい 6 週間になると思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	2022 年度春季短期エンデラン大学 (6 週間) 短期研修
------------	--------------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	65,000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	1,600 円	SIM カード、プリペイドカード
現地通学費	0 円	(研修先まで 分)
教養娯楽費	15,000 円	
被服費	3,000 円	
雑費	円	
その他	25,000 円	例:お土産代
その他	円	例:
合計	109,600 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
ありませんでした。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:現地についてから少しずつ両替しました その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
現地到着後、SIM カード、プリペイドカードをコンビニで購入しました。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
スマホのストラップ、サウのごはん、使い捨ての箸やスプーンなど、エコバッグ

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:現地スタッフの方) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
事前にフィリピンに行ったことや留学したことのある友達に話を聞きました。盗難が多いと聞いたため、財布はバッグにつなぐようにしたり、スマホはストラップをつけて、必ず首にぶら下げようしていました。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)

寮の Wi-Fi が毎回 1,2 日経つと使えなくなり、寮のマネージャーに伝えるとその後 3 日ほど返ってこなかった。
寮のインターネットがたまに使えなくなる。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	
<input checked="" type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	
2) 部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 3~4 人)	
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)	
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
ゴキブリが計 3 匹出ました。ほかの部屋では毎日 1~2 匹出たそうです。部屋によって当たりはずれがありました。量のマネージャーは良かったです。洗濯物がほかの人と混ざっていたり、なくなることがありました。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容	
マンツーマン授業	
2) 課外プログラムについて	
マニラ観光では、ツアーガイドさんの丁寧な説明を聞きながら観光を楽しむことができました。	
3) 滞在先・現地での生活に関すること	
食事や慣れない生活、ストレスなどによりほとんどの人がおなかを壊していました。体調不良になった人もいました。	

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

私はスピーキング力を向上させたいと思っていたため、長時間の授業スケジュールとマンツーマン授業に惹かれてエンデラン大学に留学することを決めました。授業はとても充実していたと思います。マンツーマン授業では、先生とともに仲良くなり一緒に昼食を食べている子がいました。最終日には、先生を含めてみんなでご飯を食べに行きました。エンデラン大学の先生はとても優しくかったです。しかし、マンツーマンの先生はずっと固定なので、やはり当たりはずれがあると思います。私は、先生の授業スタイルと合わないことが理由で 2 回先生を変えました。しかし、変更した後も自分が望む授業スタイルに合った先生がくるとは限らないので、まずは自分がどのようなことをやりたいのか具体的に考えて伝えることが大事だと思います。寮では、Wi-Fi がほとんど使えませんでした。また、ランドリーのスケジュールが毎回変わり、なかなか洗濯物が戻ってこないことがあるので、着替えは多く用意するべきだと思います。寮のマネージャーは、とても優しくすぐに対応してくれる人と、全く対応してくれない人がいました。フィリピンで 6 週間生活することはとても大変でしたが、同じプログラムに参加した子や先生とともに仲良くなり、すごく良い経験になったと思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	エンデラン大学(派遣)2022 春季6週間
------------	-----------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	45000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	2000 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 徒歩5分)
教養娯楽費	15000 円	
被服費	5000 円	
雑費	5000 円	
その他	12000 円	例:お土産
その他	6000 円	例:交通費
合計	90000 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
なし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 近くのモールで換金 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
現地についてからコンビニで SIM カードとロードカードを購入。使い方は現地の人に教えてもらったほうが良い。また専用のアプリをダウンロードすると、残りのギガがわかりやすい。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
日本食、下痢止め、整腸剤、日焼け止め、動画や音楽をダウンロード、虫対策グッズ

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等: 寮のマネージャー 先生) 特記事項: 電波が悪く携帯が繋がらなくなることがある。 お腹を壊す人が多かった。
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
日本人担当の方が予め危険地域を教えてくれた。 盗難などには巻き込まれなかったが、鞆を前に持つなど常に気をつけていた。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)

寮では電波そのものが悪くネットが繋がらないときがたまにあった。学校の wifi も週に一度ほど繋がらないときがある。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類
<input checked="" type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 3-4人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
部屋によってはよくゴキブリが出ます。フィリピンではトイレトーパーが流せないの注意してください。シャワーの水圧も弱いです。寮のポケット wifi はよく壊れます。寮のメンバーとはすごく仲良くなれます。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容
一日4時間のマンツーマンレッスン。英語を話すことへのためらいがなくなる。
2) 課外プログラムについて
6週間プログラムには2回課外プログラムがある。1回目のマニラ観光も、2回目のビーチもとてもいい思い出になった。馬車やバナナボートに乗り週末を満喫できた。
3) 滞在先・現地での生活に関すること
虫が日本より多く出るので苦手な人は対策をした方がよい。 フィリピンの人たちはみんな明るい、スーパーやレストランなどでは提供が遅いなど日本と同等のサービスを期待してはいけない。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私はスピーキングとリスニングに対して苦手意識を持っていたので、このプログラムが一番短期でこの2つの力を伸ばせると思ったので選びました。6週間は想像しているよりも長いですが、先生とも友達ともより仲良くなれるので私は6週間をおすすめします。フィリピンは途上国なので、少し寮の付近から離れるとストリートチルドレンや道端で寝ている人がたくさんいます。このように日本との違いを痛感することが多くありましたが、日本の良さに気づくことができ、さらに異文化への理解を深めることができました。他の短期プログラムの多くはグループレッスンですが、このプログラムはグループレッスン3時間に加えて、マンツーマンが4時間あるので英語力を短期で伸ばしたいという人にぜひ選んでほしいです。
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	エンデラン大学(派遣)2022 春季
------------	--------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約34000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	1500 円	Grob simとロードカード代 500 ペソ と 100 ペソ
現地通学費	0 円	(研修先まで 徒歩5 分)
教養娯楽費	約22000 円	タクシー代や入館料、スパ代など
被服費	0 円	
雑費	約12000 円	生活用品、誕生日祝いの雑貨など
その他	約16000 円	お土産代
その他	円	
合計	約85500 円	割り勘をしていたり、レシートがなかったりするので、実際は 10 万程度

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
出国の際、ビザのことで税関に数名止められたが、最終的に全員で飛行機に乗れた。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法： 10 万円を持っていき、現地でレートを見て、使いきれぬかどうかを考えながら換金した。 現地のレートが良いところを探して換金した。クレジットカードも持って行ったので、使った現金は 5 万円程度だった。 クレジットカードは、ビザとマスターを持って行った。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
寮近くのファミリーマートで Grob の SIM カードとロードカードを購入した。ポケット Wi-Fi を寮から一部屋一台ずつ支給された。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
自分の好みのあるものがあるかわからなかったため、日本からマスクを持って行って良かった。レストランでは、ペーパーしか出てこないので、濡れティッシュや除菌シートが役に立った。トイレトペーパーがないことがしばしばあるので、ティッシュも必須。日焼け対策のために、日傘や帽子は便利。教室は冷えていたので、はおりが毎日必要だった。ランドリーは週 2 回だったが、曜日が週によって異なったので、下着は多い方が良いと思った。私は、7 日分持って行ってちょうどよいぐらいだった。ファブリーズを使って、もう一度同じ服を着ることもあった。小分けの商品は少ないので、輪ゴムやジップロックが役立った。熱や腹痛の症状が出た人が多かったので、常備薬は必須だと思った。先生たちが現地のお菓子をくれることがあったので、日本のお菓子やお礼のためのお土産も持っていたことで、話題が増えたり仲良くなれたりした。スーツケースの計りが役立った。室内履きは必須。ゴキブリが多いので、ゴキブリ予防のものを持っていくといいと思った。虫よけなども必要だった。しかし、近くのモールで、除菌シートやティッシュ、お風呂用品、服などは入手できる。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)

<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:寮のマネージャー、サポーターの方、大学の先生や生徒に相談した。授業スケジュールが大幅に変更したり、先生に関する事を相談したりした。SIM のことや、観光に関する事を教えてもらった。
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？ 寮のマネージャーや大学の先生に質問するのが一番情報を得られた。人が多いところでは、カバンを前にして行動した。危険地域では、一人で行動しない。なるべく人通りが多いところを選んで歩く。犯罪に巻き込まれることはなかったが、ストリートチルドレンなどにお金をせがまれたり、客引きがしつこかったりすることは、よくあった。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。) SIM カードとロードカードを購入後、Grob のアプリを入れて、管理した。わからないことは、大学の先生や生徒、寮のマネージャーに質問した方がよい。寮の部屋内は電波が良くないため、コモンスペースに行っている人もいた。学校に残って Wi-Fi を使用している人もいた。寮から一部屋一台ずつ支給される Wi-Fi は、一日で使えなくなることがほとんどで、戻ってくるまで 3 日程かかった。寮のマネージャーに言わないともらえないし、修理してもらえない。

滞在形態関連
1) 留学中の滞在先の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態 <input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 4 人)
3) 共有部分 <input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可) キッチン、洗い場のみだった。
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス) ゴキブリが毎日出る部屋だったので、ゴキブリ予防のものをもっていくと便利。ハウスキーパーの人に伝えて、冷房を付けたままにしておくと、ゴキブリの出る数が減ったので、おすすめ。電波が悪いので、大学の Wi-Fi を使うなど工夫するとよい。ハンガーは十分にあったので、持っていく必要はなかった。トイレトイレットペーパーは、欲しくなったらもらう形だったが、トイレトイレットペーパーの在庫が切れていることがしばしばあったので、同じ部屋の子と相談して、トイレトイレットペーパーを買うか同課などを決めるとよいと思う。他にも、食器洗剤やハンドソープなども相談するのが良いと思う。冷蔵庫は寮内共同で、冷蔵庫と電子レンジ、ウォーターサーバーは 3 階にしかなかった。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容 発音トレーニングの授業のおかげで、音の作り方を学ぶことができた。この授業を通して、発音やイントネーションの大切さを学ぶことができた。チャターボックスでは、一対一で先生と自由に話すことができるので、英語を話す機会が増え、単語数も増えた。トピックによっては、フィリピンの文化や社会事情を知ることができた。グループ授業を通して、みんなの前で話したり、初対面の人に質問したりすることに強くなれたと思う。
2) 課外プログラムについて フィリピンの歴史を学ぶことができた。ガイドの方が、説明をしながらツアーをしてくださったので、新たな知識を得られた。授業ではあまり話さない人との交流もあったので、良かった。
3) 滞在先・現地での生活に関すること 基本的に grob を使って移動していた。カード登録もできるし、払う金額が先に表示されるので、ぼったくりされる心配がない。生活用品は、スーパーなどで買えるので安心だった。おそらく危害を加えてくることはないと思うが、町中に野良猫や野良犬がいるので、狂犬病などには気を付けた方がいいと思った。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

比較的安い金額で、長い期間で、長い授業時間をとることができることを魅力に感じ、一对一の授業を受けられるので英語力を上げられて英語を話す機会が多く取れると思い、この研修を選んだ。授業や先生との関係、寮での生活において、様々な問題が出てくると思うが、自分の要望を自分で直接伝えることは大切で、成長するきっかけにもなると思うから、思い切って取り組んでほしいと思う。はっきり伝えることで、もっと学べる内容が多くなり、充実した留學生活を送れるようになると思う。また、授業だけではなく、現地の学生と友達になったり、休日の時間を十分に使ったりして、楽しんでほしい。留學の時間は、長いようで短いので、貪欲になって貴重な体験をしてほしいと思う。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	エンデラン大学6週間プログラム2023
-----	---------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	6万 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	0 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 5 分)
教養娯楽費	2万 円	
被服費	0 円	
雑費	1000 円	
その他	0 円	例:
その他	0 円	例:
合計	8万1000 円	

渡航準備について

- 1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
 出発時に、ビザがないと現地に着いたときに入国できない可能性があると言われ、困った。しかし問題なく入国でき後にビザの延長を行った。
- 2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
 現金の用意方法: 現地に着いてから換金した。計4万円換金し、カードと併用しながら生活した。
 その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート
- 3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
 シムカードは現地のコンビニで購入し使用した。Wi-Fi は寮で支給されたものを使用した。
- 4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
 薬、ドライヤー

現地情報

- 1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
 なし あり (問題の内容や相談した人等:)
 特記事項: 日本のシムカードを無くした。親に相談し、早急にシムカードの停止を行った。
- 2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
 スマートフォンで事前に調べ、危険区域にはいかないようにした。盗難等の犯罪には巻き込まれなかった。
- 3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)

寮の Wi-Fi は何度もつながらなくなる時があり、そのたびに修理してもらった。大学の Wi-Fi はつながりやすかった。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	
<input checked="" type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	
2) 部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 4 人)	
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)	
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
寮は4人部屋で少し狭い気がした。トイレやバスルームに関しては、日本と大きく異なり、ウォシュレットや湯銭は無かった。しかし生活していくうちに慣れた。トイレトーパーは必要になったら寮のスタッフからもらう必要があるの、スタッフに会うたびにもらい、ストックしておいた方が良い。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容	
マンツーマンレッスンは英語力を向上させる手段としてはかなり良いと思った。一日4時間のマンツーマンレッスンと3時間のグループレッスンを6週間行うのはかなり体力が必要だったが、英語力は身につけることができると思った。	
2) 課外プログラムについて	
土日のどちらかで世界遺産やビーチに明治大学の学生全員で遊びに行くプログラムがあったが、ツアーガイドさんが案内してくれるので安心して遊ぶことができた。	
3) 滞在先・現地での生活に関すること	
滞在先では、共有スペースがありそこで日本人以外の友達と交流することができた。生活面に関しては、毎日朝から授業があるので健康的な生活がおくれた。時には環境の変化が原因となり体調を崩してしまうことがあった。また何度も腹痛に襲われたので、薬は多めに持つていくべきだと思った。	

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

私はエンデラン大学のプログラムが一番英語力の向上につながると思い選んだ。他の研修先と比べ圧倒的に授業時間が多く、マンツーマンレッスンがあるのはフィリピンだけなのではないかと思う。人柄もとてもよく、気軽に話しかけることができるので、友達も作りやすかった。しかし生活面に関しては、日本と大きく異なる点があり、現地の生活になれるのには少し時間がかかった。特に治安の良さが日本とは異なり、危険な区域が多いので気を付ける必要がある。短期間のプログラムではあるが、しっかりと英語を学ぶことができ、とても満足いくプログラムだと思うのでぜひ参加することをすすめる。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	エンデラン大学 6 週間
------------	--------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	63,200 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	2,290 円	SIM カード 1 枚、ロードカード 500 ペソ 1 枚・300 ペソ 1 枚の料金
現地通学費	0 円	(研修先まで 徒歩 5 分)
教養娯楽費	1,500 円	休日の娯楽費(主にタクシー代)
被服費	0 円	
雑費	0 円	
その他	6,300 円	例:お土産代
その他	5,000 円	例: 生活必需品代
合計	78,290 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか

日本出国の機内預け荷物を確認してもらう際に、6 週間プログラムの私を含む5人が ANA のスタッフに止められ、機内預け荷物さえ預けられない状況になった。スタッフによると旅行目的であってもフィリピンに 30 日以上滞在する場合はビザが必要であり、私たちは皆ビザを申請していなかったため、これ以上先に通すわけにはいかないという旨の説明を受けた。プログラムの説明会では旅行目的であればビザは必要なく、フィリピン現地でビザを申請し延長を行うという説明を受けていたので、非常に混乱した。また、出国の際に明治大学の責任者が空港におらず、誰に指示を仰いだらよいのかわからない状況であった。ツアー会社の責任者が明治大学と連携をしてくださり、また ANA のスタッフの方々の了承もあり、なんとか搭乗することが出来たが、この騒動で飛行機の離陸時間を大幅に遅らせたうえ、ビザを申請せず不法滞在にもなりうる可能性があったと思う。30 日以上の滞りにビザが必要という要件があるのに、申請をせずに黙って入国しこのようなリスクを冒すのは危険であるし、当日に明治大学の責任者が空港にいないという事態はあってはならなかったと思う。またフィリピン入国の際も、ビザの有無を聞かれ、無いと答えたら複雑な指示をされたため、明らかにビザを取るべきであったと思う。次回から参加する生徒にこのような思いはしてほしくないため、大学側でプログラムの事前準備としてビザを申請する指示をするべきだと強く思う。

2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法: 日本で 5 万円分換金をしていき、現地で 1 万円分換金をした。

その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート

3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか

現地のコンビニエンスストアでフィリピンSIMカードとロードカードを購入した(SmartとGlobの 2 タイプがあるが私の場合はGlobを購入した)。しおりに記載はなかったが、SIMカードとロードカードを登録し終わった後にGlobal Oneというアプリを入れ、そこからギガをチャージしていくことをおすすめする。イメージとしては、SIMカードをフィリピンのものに入れ変えてロードカードの番号を打ち、上記のアプリを通じてロードされた分から使用できる分のギガをチャージし、携帯を利用していくという流れである。

Wifiについては、特別日本から持っていくことはしなかった。寮の部屋に一台ずつポケットWifiは用意されるが、1 日 2 日で使えなくなってしまい、次使えるように寮のスタッフが直してはくれるが、それまで 2 日 3 日ほど待たなくてはならず不便であった。

4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

準備して助かったもの: ナイフ、かゆみどめ、胃腸薬、湯沸かし器、インスタント味噌汁、電子辞書、部屋用サンダル

準備したほうが良かったもの: 長袖のTシャツ複数枚、ファブリーズ、除菌シート、マスキングテープ、はさみ、油性ペン、サトウのごはん

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)

<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり（問題の内容や相談した人等：現地サポーター高王さん ） 特記事項：滞在中、足中に蕁麻疹を発症し現地サポーターの高王さんに相談をし、現地の病院に連れて行ってもらった。
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
特にマニラ市内などの地域はストリートチルドレンが多く、お金を貰いに集られることがあった。無視をするか、お金はないと言いその場をやり過ごした。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 （例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。）
上記でも述べた通り、寮の各部屋にポケットWifi1 台が配られるが容量が少ないのか 1 日 2 日で使えなくなってしまう。寮でもほとんどSimのギガを使ってインターネットを利用していた。大学の生徒用のWifiも弱く、ネット上での調べ作業ができなかったので、1対1の先生から従業員用のWifiを覚えてもらいそれを使用して調べ作業をしていた。

滞在形態関連
1) 留学中の滞在先の種類
<input checked="" type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
自分たちの力で試行錯誤して生活をし、滞在していく力が試されます。名前は伏せますが、プログラムのサポーターに質問をしても理解していないことが多く、時に間違った情報を提供してくることもあります。ヒントはくれますが実際にそれを試したり実行するのは自分たちの力するのがほとんどです(特にSIMカード・ロードカードの購入や登録)。 現地の方たちに質問をすれば快く教えてくれる方がおり、その人たちのほうが確実な情報を持っている可能性が高かったため、現地の寮のスタッフや寮ですでに滞在している学生を頼りましょう。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容
グループ授業において、皆の前に立って英語を話す機会や大学内の人にインタビューをする授業があったことが、自分にとって役立つ経験であった。明治大学では英語を皆の前で発言する経験は大学のプレゼン発表などの機会ではしか得られないが、このプログラムの授業ではそのような機会がたくさんあること、そして自分から英語でネイティブスピーカーに話しかけなくてはならない状況下に置かれることで、自ら英語で話しかけることに自信がつくようになった。
2) 課外プログラムについて
2 週目の週末のマニラ市内アクティビティはかなり充実していた。マニラ市内はなかなか治安が悪く、自分たちだけで行くのは少し気が引けてしまっていたが、このアクティビティでは移動がバスでありガイドさんも付いてくれたので安心してマニラ観光を楽しむことができた。
3) 滞在先・現地での生活に関すること
フィリピンの生活(寮生活も含めて) フィリピンでの生活水準は日本よりも劣っている点が多く、それに慣れるまで苦しい思いをすることもあるが、日本での生活がいかにめぐるのかを体感でき人として成長できるプログラムであったと思う。寮内の環境に関して不満なところや気になることは寮のスタッフに相談すれば改善してくれようと努めてくれるのでその点ではよかったと思う。Wi-fi 環境は整っているわけではないが、存在していることには存在しているので、慣れれば十分にインターネットも利用できると思う。また、エンデラン大学の先生や仲間だけでなく、大学内のスタッフ・現地大学生や寮内のスタッフや留学生ともコミュニケーションを取ろうとすることで、授業だけでなく様々な面から英語力・コミュニケーション能力が磨かれると思う。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

(200 字以上)

<この研修先を選択した理由>

この研修先を選んだ理由は、他プログラムと比べて格安であり、マンツーマン授業という自分から英語を学びに行く姿勢が求められ、英語を勉強しなければならない環境に身を置くことができると感じたためです。また、短期間で英語力向上を図るために最適な研修内容であったためです。

<研修と生活全般についてアドバイス>

研修前に単語のインプット、TED などの英語を聞くようにするなどある程度の英語力を付けてから臨んだ方が、他の人よりも現地でもり身になるレッスンを受けることが出来ると思います。私の場合は、行く直前に TOEIC を受け英語力をある程度高めてから研修に臨みました。またこの研修が無駄にならないように帰国後も TOEIC を受験する予定を立て、英語に触れる時間が少なくならないようにしています。

研修にマンツーマン授業があると思いますが、そのマンツーマンの講師のやり方が気に入らない部分があったら我慢せずに、授業スタイルを変えてほしい旨を伝えましょう。それでも変わらなかったら講師を変えてもらうように伝えましょう。あちらの文化には察する文化がないので、自分から意思表示をしないと何も変わりません。我慢すればするほど損をするので、自分がしてほしいことやしたいことは何でも意思表示をしましょう。

生活全般について、フィリピンの生活水準は日本よりも劣っている点が多く、最初はそのギャップに驚きストレスを感じる人が多いと思います。しかし、だんだん慣れてきますし、ストレスを感じた時にはルームメイトに話したり、日本の家族友人と電話することをおすすめします。一人で抱え込まないことが大事です。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	エンデラン大学 6 週間 2022 春季
------------	----------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	50000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	1250 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで徒歩 5 分)
教養娯楽費	円	
被服費	0 円	
雑費	10000 円	
その他	50000 円	例:お土産
その他	円	例:
合計	約 110000 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか

マネージャーさんがすべて用意して下さったので、特に困ったことはありませんでした。

2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法: モールで円からペソに両替

その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート

3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか

SIM カードとロードカードをコンビニで購入しました。

4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

ハンガー、洗濯物干し紐、ウエットティッシュ

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)

なし あり (問題の内容や相談した人等:)

特記事項:

2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

マネージャーさんが共有して下さった地図で危険地域情報を収集しました。犯罪に巻き込まれることは特にありませんでした。

3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)

寮の部屋に Wifi がありましたが、部屋によってかなり当たりはずれが激しいです。私の部屋ははずれだったようで部屋の中ではほとんどインターネットが使いませんでした。大学ではそれなりにインターネットが使えます。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	
<input checked="" type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	
2) 部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 3or4 人)	
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)	
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
共同生活は初めにルームメイトで細かくルールを決めておくべきだと思いました。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容	
マンツーマンレッスンのおかげで人前で英語を話すことが恥ずかしくなくなりました。	
2) 課外プログラムについて	
ビーチに行きました。楽しかったです。	
3) 滞在先・現地での生活に関すること	
キッチンが使えず毎日外食だったため、6 週間で5キロ太りました。	

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

私はマンツーマンレッスンに魅力を感じこのプログラムを選びました。グループで複数の人の前で英語を話すのは間違っていることが怖くて抵抗があったのですが、先生とマンツーマンで話すのは全くそんなことがなく自分から積極的に英語を話すことができるようになりました。語学留学に行きたいのであれば、フィリピンを強くおすすめします。滞在先は寮生活のため慣れない環境にストレスが溜まってしまうかもしれませんが、こればかりはどうしようもないので慣れるのを待つしかありません。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	エンデラン大学(派遣)2022 春季
------------	--------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	80,000 円	学食込み(平日昼食)
図書費	0 円	
学用品費	500 円	
携帯・インターネット費	2,600 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで徒歩7分)
教養娯楽費	15,000 円	交通費: Grab(タクシー)代込み
被服費	3,000 円	
雑費	20,000 円	お土産代等
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	121,100 円	正確な値ではなく、あくまで概算になります。

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 持参した日本円をこまめに現地の換金所で換金しました。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
SIM カードは、近所のコンビニでロードカードとともに購入した。 Wi-Fiは、大学や近くのモールのフリーWi-Fiに繋ぐか、寮で各部屋に配られるものを利用した。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
フィリピンは基本的に外は暑い、室内はクーラーが効いていて寒いことが多かったため、長袖の洋服や薄手の羽織るものを持って行って良かったと思った。また、寮で履くスリッパやシャワー後に履くサンダル等を持っていくと便利だった。 さらに、おなかを壊したり風邪をひいたりする人も多くいたため、整腸剤や風邪薬は準備するとよい。 個人的には、マンツーマン授業で先生が iPad を使う際に、有線のイヤホンが役立った。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等: エンデラン大学スタッフ) 特記事項: SIM カードの設定が上手くできず、はじめの二日間ほど誰とも連絡が取れなくなってしまったこと。SIM ロック解除を忘れてしまうと大変なことになる。高王さんの携帯をお借りして親に電話をして、日本の携帯会社の方から遠隔で SIM ロック解除をもらう大掛かりなことになってしまった。
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
留学オリエンテーションやネットから、盗難が多いという情報を得た。対策として、カバンはなるべく前に背負う、荷物をむやみに下ろさない、荷物を置いてお手洗いなどに行かないなどといった行動を心がけた。犯罪には巻き込まれなかった。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)

寮で各部屋に配られるポケット Wi-Fi は非常に弱い。2 日に 1 回は修理に出さないとイケなかった。最後の 3 週間は 1 日ほどしかまともに使えなかった。

近所のモールは毎日 1 時間無料で Wi-Fi を使えるため、そこも有効活用した。大学の Wi-Fi は基本的に動くが、たまに弱かった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類
<input checked="" type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 3~4 人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
寮の部屋は 3~4 人が住むには少し狭いと感じた。湯船はなく、シャワーの水圧は弱めだった。火が使えないため、料理はできない。少し不便なところもあったが、友達との暮らしは非常に楽しく、いい刺激になった。共用で使えそうなハンドソープやペーパータオルなどはみんなでシェアするなどの工夫をした。たまに英語縛りで話してみたり、マンツーマン授業の楽しかったことを話したりする時間が印象に残っている。ご飯は毎食自腹であるため、朝ごはんの食パンをみんなでお金を出し合ってシェアすることをお勧めする。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容
マンツーマン授業はやはり役に立つ授業だったと感じる。自分と先生しかいない時間が毎日数時間あるため、非常に良い発話練習になると思った。マンツーマン授業の Accent Training では自分の苦手な発音を重点的に練習し、Chatter Box という授業では様々なトピックについて先生と意見を交換するなど、とにかく話す時間が多く取れることが魅力。先生とも仲良くなれたことが嬉しかった。
2) 課外プログラムについて
マニラの有名な観光地に行くことができた。乗馬体験や、伝統のダンス、フィリピン料理など様々な文化に触れることができて楽しかった。また、海も非常に透き通っていて美しく、大満足だった。
3) 滞在先・現地での生活に関すること
食べ物、気候、交通、インフラ事情など日本と異なる部分はかなり多くあったが、だんだんと慣れていった。その中でも安全面は最後まで気を抜いてはいけなかったと感じた。特に貴重品の管理には注意すべきだと思う。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

私がこの研修を選んだのは、マンツーマン授業に魅力を感じたからです。先生と自分だけの空間であるため、自分が身に付けてきた英語をアウトプットする時間が多く取れることが良い点だと思いました。その中で、自分の弱点を見つけたり、すぐに先生に質問したりできるため短期間でも英語力が伸びやすかったです。1 日に数時間 1 対 1 の授業は体力を使うが、英語でコミュニケーションが取れる喜びや達成感を味わえるため良い経験になると思います。先生も気さくな方が多く、私たち個人の性格を理解してくれたことが嬉しかったです。

現地での生活に関しては、初めは慣れないことも多かったです。気候、水や食事、お風呂、トイレ、交通などかなり日本と違うことが多いですが、そのことを現地に住んで肌で感じられたことは、自分の経験値になると同時に、国際社会に対する知見を広げることができました。自分の当たり前が他の場所では当たり前でないことを実感できるはずですよ。

フィリピンでの 6 週間の研修は非常にやりがいがあると思います。朝から夕方までずっと英語漬けの日々は正直大変でしたが、ふり返ってみると本当に楽しかったです。ともに参加した友達や先生とも非常に仲良くなれました。日本では得られない経験をするのができ、良かったです。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	エンデラン大学(派遣)2022春季
------------	-------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	4877.19 円	20150 ペソ
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	2294.95 円	950ペソ
現地通学費	0 円	(研修先まで 5 分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	12521.54 円	5199ペソ
雑費	15874.10 円	6591ペソ
その他	24402.43 円	例:お土産(10132ペソ)
その他	円	例:
合計	59970.22 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか

e-travel の登録の際に、住所と電話番号を入れる欄があったが、どの住所と電話番号をどのように入れたらいいのかがしおりに記載がなく、分からなかった。

2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法: 現地のモールの換金所で換金した

その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート

3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか

SIM とロードカードどちらも現地のコンビニエンスストア(ローソン)で買った。
寮の Wi-Fi は寮のマネージャーに尋ねたところ、部屋につき一つもらうことができた。

4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

レートが日本で換金したほうが高ければ日本で換金したほうがよかった。
SIM、ロードカードに関しても日本で事前に調べて、安くて困らないものがあればそちらを使用するべきだった。
ティッシュ、ウェットティッシュ、物干しの紐、ブラックキャップ(ゴキブリ用)、携帯のネックストラップ、ピオフェルミン、衣服は一週間分(なくなっても困らないもの)

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)

なし あり (問題の内容や相談した人等: モールの人や、寮のマネージャーや明治の友達)

特記事項:

2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

特になし。現地スタッフの方がストライキについてお知らせしてくれたが、私たちの地域には影響がなかった。

3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)

寮の部屋ではインターネット接続が不安定だったので、廊下に出たりコモンルームに行ったりして対処した。
Wi-Fi もすぐに壊れがちだったのであまり信用していなかった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

寮・アパート ホームステイ ホテル

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 3~4人)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

部屋によってはゴキブリがとてもしつこいので、ブラックキャップを持って行ったり、現地で殺虫剤を買うことをお勧めします。私たちの部屋はキッチンにゴキブリが住み着いていました。また、お風呂を上がった後に足ふきマットがないので、気になる場合はモールの中にある日本城という日本商品が売っているお店で珪藻土バスマットを買うのがおすすめです。廊下で夜に基本ゴキブリが歩いています。コモンルームも階数によってはゴキブリがいます。気を付けてください。電子レンジと冷蔵庫、給水機があるのはとても助かりました。ただ、三階のある1部屋にしかないのが不便です。全員共用で使っています。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容

1対1で会話をする時間がたくさんあったのが良かった。

2) 課外プログラムについて

基本あまりお金は使わなかった。だが、海に行ったときにバナナボートなどに乗りたければ料金がかかる。

3) 滞在先・現地での生活に関すること

隣のベニスモールには換金所が二つあるが、学校に近い 2 階の換金所ではなく、3 階の換金所のほうがレートが得なのでそちらで換金するべき。スーパー、レストランはクレジットカードが使えるが、フードコートは現金のみのところが多いので注意。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

私がこの研修を選んだのは、1 対 1 のレッスンがあり、一番勉強時間が長く、物価が安かったからです。まず到着した際に寮の Wi-Fi はマネージャーに尋ねなければもらえない可能性があるため、確認してください。SIM カード、ロードカードはベニスモール内のローソンで買ったグローブのものを使用しましたが、スマートのほうがいいとか、モール内の携帯会社の人にいろいろ聞いたほうがいいなど聞きました。確かなことはわかりませんが、ローソンで買うか、モールの携帯会社にいつてみたらいいと思います。ただ品数が限られているので全員分はないかもしれません。SIM の使い方が分からなければ、寮のマネージャーか、ジェーンという女の子の人に聞けば何とかあります。また、ブラックキャップとビオフェルミンは絶対に持って行くべきです。

研修に関しては、先生が嫌だと思ったらすぐにマーロンという総括している方にラインするべきです。返信が遅ければ現地サポートの方にラインすれば大丈夫です。また、この先生がいいという指定があればその先生が空いていれば変えられるかもしれないので、とにかく自分で何でも言うことが大切です。先生に対しても自分の好みの 1 対 1 の授業になるように、働きかけてみるのが大切です。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	エンデラン大学(派遣)2022年度 春季
------------	----------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	80000 円	
図書費	0 円	
学用品費	1000 円	
携帯・インターネット費	2600 円	
現地通学費	6000 円	(研修先まで徒歩6~8分)
教養娯楽費	15000 円	
被服費	12500 円	
雑費	500 円	
その他	1000 円	例: 石鹸、キッチンペーパー
その他	25000 円	例: おみやげ
合計	137600 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか

ピザがない状態での出国を航空会社に認められず、出国にてこずった学生が何人かいた。
また、行きの飛行機で入国カードが配られることはなく、同書の記入なしでの入国が可能であった。

2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法: クレジットカードは両親から使う事をあまり推奨されていなかったため、すべて現金で支払っていました。現金20万円を四万ずつに分散させて、鍵のかかる場所に保管していました。

その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート

3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか

SIM カードとロードカードを近くのコンビニエンスストアで購入し、ロードカードにあるギガがなくなり次第、新しいロードカードを購入し、使用していた。また寮で配られる Wi-Fi はすぐに使えなくなるため、自身のロードカードでのギガを使うことが多かった。また、学校のWi-Fi も時折使えなくなることがあるため、あまり通信環境が整備されているとは言い難い状況だった。

4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

洗濯ネット: 洗濯ものを出す際、靴下などの細かいものの紛失を避けるため、また下着が見えないようにするために使用していた。
ウェットティッシュ: 現地のレストランでおしぼりが配られることはほぼなく、日本のようにいたるところで消毒液の使用が可能なのではないため、かなり使用頻度が高く、思ったよりも多めに持って行く事をお勧めします。
モバイルバッテリー: 現地の SIM に入れ替えると、携帯の電池の消耗がかなり早くなります。
逆に持ち物リストにあった、パソコンと USB メモリは全く使わなかった。

現地情報

**1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)**

なし あり (問題の内容や相談した人等: クラスメイト、ルームメイト)

特記事項: 学校の授業にプレッシャーやストレスを感じすぎたため、ルームメイトやクラスメイトに話を聞いてもらい、気持ちの安定を図っていた時期があった。

2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

とくに目立ったトラブルには合わなかった。周りによく目を配り、周りに人がみな鞆を前に抱えているなど、その場所が危険そうだと判断できる時には、なるべくクラスメイト同士の距離を縮め、鞆を両手で抱え、警戒した。また鞆に南京錠をかけ、防犯意識があるという事をそれとなく周りに示すことも有効であったと考えている。

3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮で配られる Wi-Fi は使いものにならないことが多く、そのため安定した通信が必要な時は学校の図書館に残り、学校のWi-Fiを使用していた。但し学校のWi-Fiも時折使えなくなることがあったため注意が必要である。また、近くにショッピングモールが無料で一日あたり一時間のWi-Fiを提供しておりそれを利用する学生も多かった。

滞在形態関連	
1)留学中の滞在先の種類	
<input checked="" type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	
2)部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 3-4 人)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
ドアの建付けが悪い、机がぐらぐらする、冷蔵庫等の共用部分が自分の部屋から遠い等多少の不便さがあったものの、必要なものは揃えられている印象であった。但し部屋のどのスペースをどう活用するか、自分が私的に利用していい部分はどこまでなのかをルームメイトと相談し、お互いに配慮をしながら生活することが求められる。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1)研修先での役立つと感じたプログラムや内容	
Accent training: 研修前は発話の際発音がどうしてもカタカナになってしまっていたが、講師の先生の丁寧な指導と寮に帰ってからのそれら復習により、少しずつ伝わりやすい英語を話すことが可能になっていった。自ら発音を矯正することは難しいと感じている方には自信をもってお勧めできると感じている。	
2)課外プログラムについて	
フィリピンの街を探索し、異文化にじかに触れる機会が多かった。スラム街やストリートチルドレンなど日本では見ることにないような光景を目にすることもたびたびあり、複雑な心境になった。	
3)滞在先・現地での生活に関すること	
通信手段が常に確保できるわけではないため、その点はかなり不便な思いをします。また、害虫も多いため、日本から何かしらの対策グッズを持ち込む等の対策を行う事を推奨します。	

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

エンデラン大学研修の魅力的な所は学生一人一人に向き合った丁寧な指導だと思います。そのため、大勢の前で発言する勇気がなかなかでないという方や個人の特徴を反映したオーダーメイド型の授業に参加してみたいという方などにもってこのプログラムだと思います。実際、はじめは少しぎこちないような雰囲気だった授業も、すこずつ学生に英語を話す勇気がわいてきたことにより、より活発でにぎやかな授業になってきている事を感じ、学生どうし、お互いの成長を実感していました。3週間、6週間はあっという間に過ぎてしまうように思える期間ですが、自分をもっと成長させたい、いろいろな事に挑戦してみたいなどの学びに対する貪欲さを発揮することにより、先生方も精一杯それに応えて下さり、そのことによって自分でも驚くほどの成長を実現できると思います。